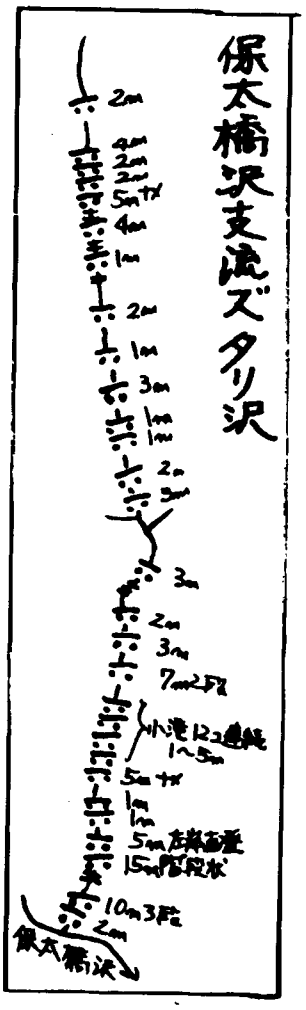
るが，１～２ｍの滝にちょっとホールドの少ないものがある。

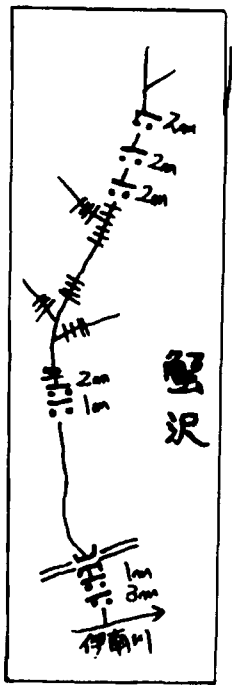
小滝の連続が終わると沢筋に倒木が目立つようになり，滝は間隔をおいて出現するようになる。７ｍ２段滝は，下段は左岸，上段は中央やや左よりを直登するが，最上部にホールド乏しく，ちょっと苦労した。

沢幅はしだいにせまくなってゆく。最後の２ｍ滝を越えると，水量は激減し，沢床をぬらす程度の流れとなった。そしてさらに15分。その乏しい流れも消え，沢は小さなミゾにすぎなくなった。遡行終了8時50分。

（　　）

［タイム］　保太橋沢出合(6:25)→ズタリ沢出合(7:00)→遡行終了(8:50)





伊南川支流蟹沢

1992年10月3日

12時30分，遡行開始。蟹沢は伊南川との出合に小滝をかけただけで，平凡な流れが続く。樹林帯の中をただひたすら遡るだけである。あまりの平凡さに半ばイヤになり，沢に落ちていたトチの実を拾いつつ遡る。40分程遡った所で小滝とナメが出てきた。しかし最後にちょっぴり変化を見せただけ。すぐ二俣となり，どちらも細い溝状になってしまった。遡行終了13時30分。

［タイム］　蟹沢出合(12:10，12:30)→遡行終了(13:30)